

令和6年度 青梅市立新町中学校 第3学年 数学 年間指導計画 【指導者】武藤、山村、米田

使用教科書『これからの数学3』(数研出版)

学期	月	単元名と学習内容	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	主な評価方法
1	4, 5	1章 式の計算(19)	①展開の公式[1]~[4]を用いる簡単な式の展開や因数分解の公式[1]~[4]を用いる簡単な因数分解ができる。 ②式の展開や因数分解を具体的な場面で利用することができる。 ②文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 ③既に学習した計算の方法と関連付けて、単項式と多項式の乗法の計算方法・展開の公式・式の因数分解を見いだそうとしていたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元テスト ・ ワーク ・ 授業中の取り組み
	5, 6	2章 平方根(18)	①平方根をふくむいろいろな計算ができる。 ①近似値と誤差の意味を理解している。 ②分配法則や展開の公式と関連付けて、平方根をふくむ式の計算の方法を考察し、説明することができる。 ③数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。	
	6, 7	3章 2次方程式(17)	①因数分解・平方根の考え方・解の公式などを用いて、2次方程式を解くことができる。 ②2次方程式を能率的に解く方法を考察することができる。 ②2次方程式を具体的な場面で利用することができる。 ③2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	
2	9	4章 関数 $y = ax^2$ (17)	①関数 $y = ax^2$ をグラフに表すことができ、その特徴を理解している。 ①関数 $y = ax^2$ の変化の割合や変域を求めることができる。 ①比例、反比例、1次関数、関数 $y = ax^2$ とは異なる関数関係があることを理解している。 ②関数 $y = ax^2$ を具体的な場面で利用することができる。 ③関数 $y = ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連付けようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 夏休み明けテスト ・ 単元テスト ・ ワーク ・ 授業中の取り組み
	10, 11	5章 相似(24)	①相似な図形の性質を理解している。 ①三角形と線分の比の性質や平行線と線分の比の性質を用いて、線分の長さなどを求めることができる。 ②三角形の相似条件などをもとに、図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ②相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。 ③三角形の合同条件と対比させながら、三角形の相似条件を見いだそうとしている。	
	11, 12	6章 円(11)	①円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ②円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。 ③円周角と中心角の関係をみいだそうとしている。	
3	12, 1	7章 三平方の定理(16)	①三平方の定理の意味を理解し、それを用いて辺の長さを求めることができる。 ②三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 ③三平方の定理を見いだそうとしている。 ③三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 冬休み明けテスト ・ 単元テスト ・ ワーク ・ 授業中の取り組み
	1	8章 標本調査(9)	①標本調査の必要性和意味を理解している。 ①コンピュータなどの情報手段を用いるなどし、無作為に標本を取り出し、整理できる。 ②標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 ③標本調査の必要性和意味を考えようとしている。	
	2	3年間の復習など(9)		